

山下工業所、全国にアートの発信

世界最古のチェロをアルミ板で製作



世界的奏者のヨーヨーマ氏に演奏してもらったのが夢と語る山下専務は「チェロはまだ試作品。アルミ板の板厚を薄くしたり、素材をステンレスやチタンにするなど改良を重ね、今後はより響きある音を目指します」と話す。

700系など新幹線の先頭車両製造を行う板金加工会社、(株)山下工業所(下松市東海岸通り一番二七、資本金一、〇〇〇万円、山下清登社長)がこのたび、自社の板金技術を生かし、アルミ製のチェロ(写真)を製作した。

職人が一本のハンマーで作り上げる技能「打ち出し工法」で、その名が全国に知られている山下工業所。二〇〇七年八月に、第二回「ものづくり日本大賞」経済産業大臣特別賞を受賞している。

同賞で評価された「打ち出し加工」で優雅な曲線美が表現できると、山下竜登専務がチェロ製作を発案。先月、東京・日本科学未来館で開かれた、経済産業省主催「ものづくり展」に出品した。

モデルは、一五三八年イタリアで製作された世界最古のチェロ「ストラディ・バリウス」。米国の博物館から設計図を取り寄せ、職人によって手動の機械や工具だけで約一週間で作り上げた。

シルバーの美しい輝きを放つチェロの重さは、約一〇キロで通常の三倍以上。音色については、今回は造形が目的であったため、金属製ということもあり、木製ほどの板の響きはまたないという。

山下工業所は、一九六三年九月創業。鉄道車両部品や半導体製造装置部品の製造を行う。主要取引先は(株)日立製作所笠戸事業所をはじめとする日立グループなど。年間売上は三億五、〇〇〇万円。

山口銀行鹿野支店

周南市鹿野総合支所一階に移転

山口銀行(福田浩一頭取)がこのほど、周南市の鹿野支店を四月一日より、周南市鹿野総合支所一階(周南市大字鹿野上三三七番地)に移転させる。

同店舗は昭和二九年一二月に建築され老朽化が進んでおり、駐車場も店舗から離れていた。

移転先の周南市鹿野総合支所は、旧店舗から約二〇〇メートルの距離にある。利便性を高めるため同支所内へテナント入居した。

新店舗面積は一、二、〇五平方メートル。営業時間は窓口(平日/午前九時~午後三時)、ATM(平日/午前八時四五分~午後五時三〇分)。

同行営業本部店舗企画グループは「地域を代表する公共施設内に店舗を構えることで、地域の皆様方に一層便利にご利用いただけると考えております。お客様に最高のサービスをご提供し、ご満足していただく店舗を目指します」と話す。